



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月5日
上場取引所 東・大

上場会社名 株式会社イチネンホールディングス
 コード番号 9619 URL <http://www.ichinenhd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒田 雅史
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室長 (氏名) 井本 久子 TEL 06-6309-7890
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	40,872	14.1	3,299	13.1	3,067	14.2	1,691	6.0
24年3月期第3四半期	35,812	0.4	2,916	29.7	2,686	37.5	1,595	17.2

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,677百万円 (7.8%) 24年3月期第3四半期 1,555百万円 (20.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	67.23	—
24年3月期第3四半期	63.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	86,470	15,762	18.2	626.65
24年3月期	75,382	14,571	19.3	578.96

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 15,761百万円 24年3月期 14,562百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
25年3月期	—	10.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	9.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,000	19.3	4,400	13.0	4,100	15.2	2,200	—	87.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）前田機工株式会社
（注）詳細は、添付資料P. 5「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 5「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	25,163,727株	24年3月期	25,163,727株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	10,985株	24年3月期	10,877株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	25,152,793株	24年3月期3Q	25,152,877株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報 （3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) セグメント情報等	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(2012年4月1日～2012年12月31日)におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興関連需要などから堅調に推移し、また、年末より円高修正の動きなどにより明るい兆しもみられるものの、欧州諸国における債務問題の長期化、中国経済の減速など、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、株式会社イチネンホールディングスを純粋持株会社とし、傘下の各事業会社が独立経営を進めながら、グループ一体経営を推進しております。

現在、「リース事業」、「自動車メンテナンス受託事業」、「燃料販売事業」、「ケミカル事業」、「パーキング事業」の各事業を展開しており、「カーシェアリング事業」、「機械工具販売事業」、「合成樹脂事業」にも参入しております。

当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、408億72百万円(対前年同期比14.1%増)、営業利益は32億99百万円(対前年同期比13.1%増)、経常利益は30億67百万円(対前年同期比14.2%増)、四半期純利益は16億91百万円(対前年同期比6.0%増)となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、下記のセグメント別売上高は、内部売上高消去前の金額であります。

<リース事業>

リース事業におきましては、中小口規模の企業を中心にリース化の進んでいない車両需要先をターゲットに新規販売を積極的に行いリース契約の増加に努め、既存顧客との取引深耕にも注力いたしました。また、依然としてリース契約車両は小型化傾向にあります。エコカー補助金による新車入替効果もあり、契約台数が堅調に伸びました。

この結果、2012年12月末現在リース契約台数は59,280台(対前期末比1,287台増)となり、リース契約高は173億12百万円(対前年同期比12.9%増)、リース未経過契約残高は460億24百万円(対前期末比2.7%増)となりました。

損益面では、低年式・走行過多車両の入替を促進し、メンテナンスコストの抑制に注力し、採算販売の徹底により売上総利益率の改善に取り組んでまいりました。この結果、売上高は176億86百万円(対前年同期比4.0%増)、セグメント利益は10億29百万円(対前年同期比6.9%増)となりました。

なお、2011年1月より参入いたしましたカーシェアリング事業については、早期に軌道に乗せることを目指し、会員獲得に努めております。

<自動車メンテナンス受託事業>

自動車メンテナンス受託事業におきましては、当社グループ独自の強みである高点検率、営業品質を追求しながら、契約台数、契約残高の増加に努めてまいりました。また、メンテナンスコストの増加要因となる低年式・走行過多車両の入替を促進し、メンテナンスコストの抑制に注力し、不採算契約の改善並びに走行距離に応じた料金設定を行い、収益向上に努めてまいりました。

この結果、メンテナンス受託契約高は40億32百万円(対前年同期比10.4%増)、メンテナンス未経過契約残高は68億48百万円(対前期末比7.1%増)となりました。

損益面では、引き続き徹底した不採算取引の改善を行いました。また、中古自動車の販売数量は堅調に推移いたしましたが、エコカー補助金の影響により中古車市場の相場下落の影響を受けました。この結果、売上高は60億54百万円(対前年同期比2.9%増)、セグメント利益は4億71百万円(対前年同期比20.8%増)となりました。

<燃料販売事業>

燃料販売事業におきましては、主力である自動車用燃料給油カードは、付加価値の高いサービスを顧客に提供し、他社との差別化を図ることにより、新規顧客獲得並びに販売数量の確保に注力いたしました。

損益面では、自動車用燃料給油カードの販売価格の調整を適時・適切に実施しましたが、サービスステーションを一店舗閉鎖したこともあり、好調に推移した前年同期に及びませんでした。

この結果、売上高は18億78百万円(対前年同期比8.0%減)、セグメント利益は4億75百万円(対前年同期比7.1%減)となりました。

<ケミカル事業>

ケミカル事業におきましては、工業薬品関連では、主力製品の燃料添加剤の販売数量は前年同期比で減少となりました。また、化学品関連では、機械工具商向けケミカル製品やホームセンター等で販売される個人向け自動車ケミカル製品等は堅調に推移いたしました。また、防水型携帯電話部品関連でスマートフォン向けの受注台数が減少しました。

この結果、売上高は81億27百万円（対前年同期比1.4%減）、セグメント利益は5億48百万円（対前年同期比17.6%減）となりました。

<パーキング事業>

パーキング事業におきましては、中長期的に安定した収益基盤を築くため、更なる駐車場数の拡大と引き続き不採算駐車場の採算改善を行い、駐車場個々の収益向上に努めてまいりました。

この結果、2012年12月末現在駐車場管理件数は685件（対前期末比64件増）、管理台数は17,507台（対前期末比1,397台増）となりました。

損益面では、既存駐車場の収益改善策として、周辺店舗への駐車チケットの販売、月極契約の募集や駐車料金の見直し等、売上拡大策を講じるとともに、運営コストの低減を図ってまいりました。また、新規駐車場が堅調に増加いたしました。

この結果、売上高は28億65百万円（対前年同期比7.4%増）、セグメント利益は3億1百万円（対前年同期比21.4%増）となりました。

<機械工具販売事業>

機械工具販売事業におきましては、当社が2012年8月22日に株式を取得した前田機工株式会社及びその子会社1社において、機械工具及び自動車整備工具の販売を行っております。

損益面では、販売は堅調に推移いたしました。また、当社グループ体制への移行による一時的な費用が発生いたしました。

この結果、売上高は14億85百万円、セグメント損失は24百万円となりました。

<合成樹脂事業>

合成樹脂事業におきましては、当社が2012年9月27日に株式を取得した株式会社ジコー及びその子会社2社において、合成樹脂製品の設計・製造・販売等を行っております。

損益面では、遊技機メーカーへの合成樹脂製品の販売が好調に推移し、科学計測器の販売も堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は26億67百万円、セグメント利益は3億34百万円となりました。

<その他>

その他におきましては、卸売自動車用品の販売高が好調に推移いたしました。また、保険等も安定した収益を確保いたしました。

この結果、売上高は5億14百万円（対前年同期比61.0%増）、セグメント利益は1億54百万円（対前年同期比20.3%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

<資産の状況>

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は362億円となり、前連結会計年度末残高310億84百万円と比べて51億15百万円増加いたしました。これは連結子会社の取得等に伴う「現金及び預金」の増加5億71百万円、「受取手形及び売掛金」の増加43億70百万円及び「商品及び製品」の増加9億7百万円、自動車税の納付による「前払費用」の増加3億8百万円、ファイナンス・リース取引の契約残高の減少による「リース投資資産」の減少9億87百万円が主な要因であります。

固定資産の残高は502億42百万円となり、前連結会計年度末残高442億56百万円と比べて59億85百万円増加いたしました。これはオペレーティング・リース取引の契約増加による「貸貸資産」の増加34億88百万円、連結子会社の取得等に伴う「土地」の増加5億25百万円、有形固定資産の「その他」の増加9億22百万円及び「のれん」の増加8億8百万円、「投資有価証券」の購入等による増加3億31百万円が主な要因であります。

繰延資産の残高は28百万円となり、前連結会計年度末残高41百万円と比べて13百万円減少いたしました。

以上の結果、資産合計は当第3四半期連結会計期間末残高864億70百万円となり、前連結会計年度末残高753億82百万円と比べて110億87百万円増加いたしました。

<負債の状況>

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は381億56百万円となり、前連結会計年度末残高309億67百万円と比べて71億89百万円増加いたしました。これは、「コマーシャル・ペーパー」の増加50億円、「1年内償還予定の社債」の増加9億60百万円、「1年内返済予定の長期借入金」の減少7億59百万円、連結子会社の取得等に伴う「支払手形及び買掛金」の増加25億65百万円、納税等に伴う「未払法人税等」の減少7億1百万円が主な要因であります。

固定負債の残高は325億52百万円となり、前連結会計年度末残高298億44百万円と比べて27億8百万円増加いたしました。これは「長期借入金」の増加46億68百万円、「社債」の減少21億30百万円が主な要因であります。

以上の結果、負債合計は当第3四半期連結会計期間末残高707億8百万円となり、前連結会計年度末残高608億11百万円と比べて98億97百万円増加いたしました。

<純資産の状況>

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は157億62百万円となり、前連結会計年度末残高145億71百万円と比べて11億90百万円増加いたしました。これは、「四半期純利益」の計上による「利益剰余金」の増加16億91百万円、配当金の支払による「利益剰余金」の減少4億77百万円が主な要因であります。

<キャッシュ・フローの状況>

当第3四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末より5億71百万円増加し、22億63百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、△28億12百万円（前年同期は11億35百万円）となりました。これは主に、「税金等調整前四半期純利益」が30億28百万円となったこと、オペレーティング・リース取引の契約増加により「貸貸資産の純増減額（△は増加）」△80億94百万円が「減価償却費」53億76百万円を上回ったこと、自動車税の納付による前払費用の増加等により「その他」が△13億96百万円となったこと及び「法人税等の支払額」△15億72百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、△27億3百万円（前年同期は△4億1百万円）となりました。これは主に、機械工具販売事業及び合成樹脂事業に係る「連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出」△16億77百万円、パーキング事業における機器及び構築物の購入等による「有形及び無形固定資産の取得による支出」△9億30百万円及び「投資有価証券の取得による支出」△2億26百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、60億87百万円（前年同期は△2億53百万円）となりました。これは主に、「コマーシャル・ペーパーの発行による収入」430億円が「コマーシャル・ペーパーの償還による支出」△380億円を上回ったこと、「借入れによる収入」212億42百万円が「借入金の返済による支出」△184億10百万円を上回ったこと及び「社債の償還による支出」△11億70百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績につきましては、現時点では、2012年12月19日に公表いたしました業績予想に変更はございません。
なお、引き続き今後の業績動向を踏まえ精査しており、修正の必要が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、前田機工株式会社の株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、2012年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

当社及び一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2012年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2012年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,702,426	2,273,945
受取手形及び売掛金	5,855,602	10,225,669
リース・メンテナンス未収入金	1,755,711	1,934,357
リース投資資産	17,230,952	16,243,914
商品及び製品	728,103	1,635,955
仕掛品	75,321	74,146
原材料及び貯蔵品	238,991	285,167
前払費用	1,605,328	1,913,887
繰延税金資産	821,698	378,472
その他	1,071,522	1,252,986
貸倒引当金	△1,000	△18,300
流動資産合計	31,084,660	36,200,203
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産		
減価償却累計額	△24,911,290	△25,852,796
賃貸資産(純額)	21,272,173	24,760,971
土地	9,001,386	9,527,121
その他	9,470,599	11,064,161
減価償却累計額	△5,859,213	△6,529,866
その他(純額)	3,611,385	4,534,295
有形固定資産合計	33,884,945	38,822,388
無形固定資産		
のれん	4,781,111	5,389,653
その他	416,311	375,487
無形固定資産合計	5,197,423	5,765,141
投資その他の資産		
投資有価証券	2,007,184	2,338,276
長期前払費用	1,062,254	1,172,439
繰延税金資産	915,057	776,172
その他	1,461,243	1,578,896
貸倒引当金	△271,793	△210,999
投資その他の資産合計	5,173,946	5,654,785
固定資産合計	44,256,315	50,242,314
繰延資産	41,648	28,052
資産合計	75,382,624	86,470,570

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2012年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2012年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,011,413	10,577,134
短期借入金	5,716,000	5,844,800
コマーシャル・ペーパー	1,000,000	6,000,000
1年内償還予定の社債	1,800,000	2,760,000
1年内返済予定の長期借入金	11,052,025	10,292,177
リース債務	574,041	457,203
未払法人税等	845,687	144,319
リース・メンテナンス前受金	698,512	625,917
賞与引当金	374,000	197,000
品質保証引当金	—	59,853
その他	895,426	1,197,929
流動負債合計	30,967,107	38,156,334
固定負債		
社債	5,090,000	2,960,000
長期借入金	22,978,624	27,646,705
リース債務	524,523	331,901
退職給付引当金	604,337	780,145
役員退職慰労引当金	132,743	171,514
資産除去債務	176,806	188,485
その他	337,006	473,439
固定負債合計	29,844,042	32,552,191
負債合計	60,811,149	70,708,525
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,529,135	2,529,135
資本剰余金	4,155,974	4,155,974
利益剰余金	7,940,673	9,153,900
自己株式	△6,026	△6,074
株主資本合計	14,619,756	15,832,936
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△57,202	△71,077
その他の包括利益累計額合計	△57,202	△71,077
新株予約権	8,920	—
少数株主持分	—	186
純資産合計	14,571,475	15,762,044
負債純資産合計	75,382,624	86,470,570

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年12月31日)
売上高	35,812,211	40,872,620
売上原価	26,478,368	30,767,242
売上総利益	9,333,843	10,105,377
販売費及び一般管理費		
役員報酬	384,685	411,366
給料手当及び賞与	2,706,052	2,731,327
賞与引当金繰入額	144,779	191,737
退職給付費用	205,958	202,199
役員退職慰労引当金繰入額	27,831	27,610
貸倒引当金繰入額	△14,019	△9,555
品質保証引当金繰入額	—	17,354
のれん償却額	312,417	381,301
その他	2,649,222	2,852,556
販売費及び一般管理費合計	6,416,927	6,805,898
営業利益	2,916,915	3,299,479
営業外収益		
受取配当金	37,622	48,479
その他	59,086	52,920
営業外収益合計	96,708	101,400
営業外費用		
支払利息	255,678	226,126
支払手数料	26,434	52,359
その他	44,547	54,832
営業外費用合計	326,660	333,318
経常利益	2,686,963	3,067,561
特別利益		
固定資産売却益	65	110
投資有価証券売却益	12,781	1,445
新株予約権戻入益	—	8,920
特別利益合計	12,846	10,476
特別損失		
固定資産除売却損	52,264	45,294
投資有価証券売却損	—	2,938
投資有価証券評価損	3,091	1,316
特別損失合計	55,355	49,550
税金等調整前四半期純利益	2,644,454	3,028,488
法人税、住民税及び事業税	832,607	610,684
法人税等調整額	215,878	726,672
法人税等合計	1,048,485	1,337,357
少数株主損益調整前四半期純利益	1,595,969	1,691,130
少数株主利益	—	1
四半期純利益	1,595,969	1,691,129

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,595,969	1,691,130
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39,981	△13,877
その他の包括利益合計	△39,981	△13,877
四半期包括利益	1,555,987	1,677,253
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,555,987	1,677,254
少数株主に係る四半期包括利益	—	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,644,454	3,028,488
減価償却費	4,688,448	5,376,233
のれん償却額	312,417	381,301
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△17,203	△16,051
受取利息及び受取配当金	△38,967	△53,813
支払利息	255,678	226,126
売上債権の増減額(△は増加)	△146,366	△1,001,929
たな卸資産の増減額(△は増加)	△149,012	△74,567
リース投資資産の純増減額(△は増加)	612,266	764,835
貸貸資産の純増減額(△は増加)	△5,713,101	△8,094,966
仕入債務の増減額(△は減少)	60,438	△379,199
利息及び配当金の受取額	39,450	53,857
利息の支払額	△258,286	△223,092
法人税等の支払額	△595,785	△1,572,417
法人税等の還付額	256,160	169,377
その他	△815,486	△1,396,496
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,135,105	△2,812,315
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,000	—
定期預金の払戻による収入	10,000	18,413
有形及び無形固定資産の取得による支出	△413,477	△930,320
有形及び無形固定資産の売却による収入	125	103,108
固定資産の除却による支出	△4,204	△4,921
投資有価証券の取得による支出	△81,323	△226,350
投資有価証券の売却による収入	47,859	36,081
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,677,770
その他	49,061	△21,486
投資活動によるキャッシュ・フロー	△401,959	△2,703,246
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,850,000	8,428,800
短期借入金の返済による支出	△2,266,700	△8,410,397
コマーシャル・ペーパーの発行による収入	15,500,000	43,000,000
コマーシャル・ペーパーの償還による支出	△15,000,000	△38,000,000
長期借入れによる収入	7,150,000	12,814,000
長期借入金の返済による支出	△7,210,067	△10,000,518
社債の発行による収入	995,431	—
社債の償還による支出	△2,740,000	△1,170,000
リース債務の返済による支出	△46,449	△37,469
配当金の支払額	△452,751	△477,903
その他	△32,568	△59,430
財務活動によるキャッシュ・フロー	△253,106	6,087,080
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	480,040	571,518
現金及び現金同等物の期首残高	2,286,558	1,692,426
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,766,598	2,263,945

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 2011年4月1日 至 2011年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント								その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	リース 事業	自動車 メンテ ナンス 受託事業	燃料販売 事業	ケミカル 事業	パーキン グ事業	機械工具 販売事業	合成樹脂 事業	計				
売上高 外部顧 客への 売上高	16,892,817	5,672,369	2,024,600	8,242,843	2,660,135	-	-	35,492,767	319,444	35,812,211	-	35,812,211
セグメ ント間 の内部 売上高 又は振 替高	106,542	211,180	16,813	-	8,151	-	-	342,687	-	342,687	(△342,687)	-
計	16,999,360	5,883,549	2,041,413	8,242,843	2,668,286	-	-	35,835,454	319,444	36,154,899	(△342,687)	35,812,211
セグメン ト利益	963,357	390,241	511,737	666,092	248,433	-	-	2,779,863	128,052	2,907,915	9,000	2,916,915

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売自動車用品の販売業務、損害保険代理店業務並びに不動産の賃貸及び管理等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2012年4月1日 至 2012年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント								その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	リース 事業	自動車 メンテ ナンス 受託事業	燃料販売 事業	ケミカル 事業	パーキン グ事業	機械工具 販売事業	合成樹脂 事業	計				
売上高 外部顧 客への 売上高	17,576,499	5,817,708	1,846,165	8,103,502	2,861,539	1,485,696	2,667,256	40,358,368	514,252	40,872,620	-	40,872,620
セグメ ント間 の内部 売上高 又は振 替高	110,278	237,211	31,853	24,026	4,017	-	-	407,386	-	407,386	(△407,386)	-
計	17,686,777	6,054,920	1,878,019	8,127,528	2,865,556	1,485,696	2,667,256	40,765,755	514,252	41,280,007	(△407,386)	40,872,620
セグメン ト利益又 は損失 (△)	1,029,385	471,225	475,646	548,528	301,477	△24,180	334,309	3,136,393	154,086	3,290,479	9,000	3,299,479

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売自動車用品の販売業務、損害保険代理店業務並びに不動産の賃貸及び管理等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第2四半期連結会計期間において、前田機工株式会社の株式を取得したことに伴い、同社及びその子会社1社を新たに連結の範囲に含めております。これにより、「機械工具販売事業」セグメントの資産の金額は、前連結会計年度の末日に比べ、3,341,048千円増加しております。

また、株式会社ジコーの株式を取得したことに伴い、同社及びその子会社2社を新たに連結の範囲に含めております。これにより、「合成樹脂事業」セグメントの資産の金額は、前連結会計年度の末日に比べ、4,758,305千円増加しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は従来、「リース事業」、「自動車メンテナンス受託事業」、「燃料販売事業」、「ケミカル事業」、「パーキング事業」の5つの報告セグメントとしておりましたが、今後の事業領域の拡大と将来の更なる企業価値向上のため、2012年8月22日付で前田機工株式会社、2012年9月27日付で株式会社ジコーの株式を取得し、子会社化いたしました。

これに伴いセグメントの見直しを行い、第2四半期連結会計期間より「機械工具販売事業」、「合成樹脂事業」を含めた7区分に変更いたしました。

各報告セグメントの概要は、以下のとおりであります。

- | | |
|-------------------|--|
| (1) リース事業 | …自動車リース、機器及び各種動産のリース、レンタル業、カーシェアリングサービスの提供並びにリース満了車等の処分 |
| (2) 自動車メンテナンス受託事業 | …自動車メンテナンスの受託及びこれに付随する中古自動車の販売業務、自動車の点検、法定点検及び整備等の自動車整備業 |
| (3) 燃料販売事業 | …石油燃料の販売及びガソリン給油カードの募集 |
| (4) ケミカル事業 | …ケミカル製品（自動車用、機械・設備用、工業用等）の製造・販売 |
| (5) パーキング事業 | …来客用駐車場及びコイン駐車場の運営 |
| (6) 機械工具販売事業 | …機械工具及び自動車整備工具の販売 |
| (7) 合成樹脂事業 | …合成樹脂製品の設計・製造・販売、合成樹脂の再生加工及び合成樹脂原料の販売 |

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、セグメント見直し後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「機械工具販売事業」セグメントにおいて、前田機工株式会社の株式を取得したことに伴い、同社及びその子会社1社を新たに連結の範囲に含めております。当該事象により19,218千円のものれんが発生し、金額が僅少であることから一括償却しております。

また、「合成樹脂事業」セグメントにおいて、株式会社ジコーの株式を取得したことに伴い、同社及びその子会社2社を新たに連結の範囲に含めております。当該事象による当第3四半期連結累計期間におけるのれんの償却額は47,681千円、当第3四半期連結会計期間末における未償却残高は905,943千円であります。